

インターネット一時ファイルの削除方法[Java]

JRE1.3 用の手順

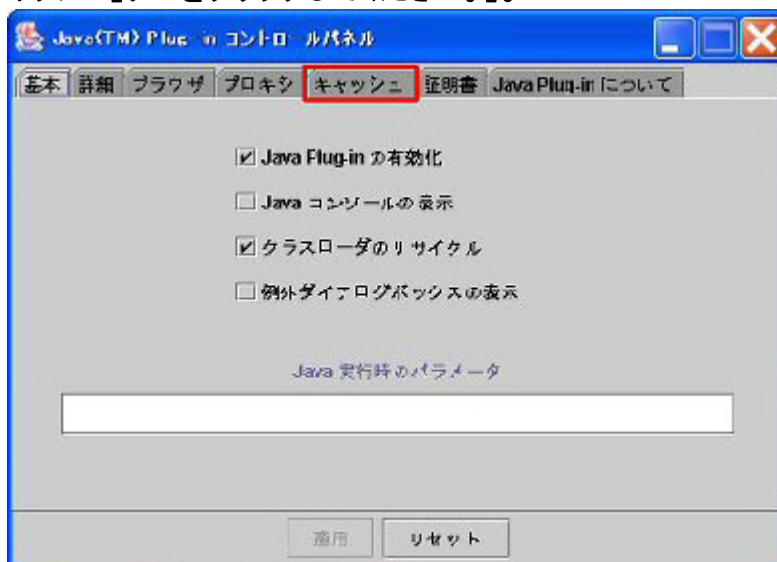
Java (JRE) のバージョン確認方法は、[こちらをご覧ください。](#)

- 1 InternetExplorer のウィンドウをすべて閉じ、コントロールパネルを開きます。
 - Windows XP 及び Windows Vista の場合は、コントロールパネルは「クラシック表示」の表示設定にします。
Microsoft 社関連ページ [「コントロールパネルを表示してみよう」](#)
 - Windows2000 の場合は、
[スタートボタン]→[設定]→[コントロールパネル]からコントロールパネルを表示します。

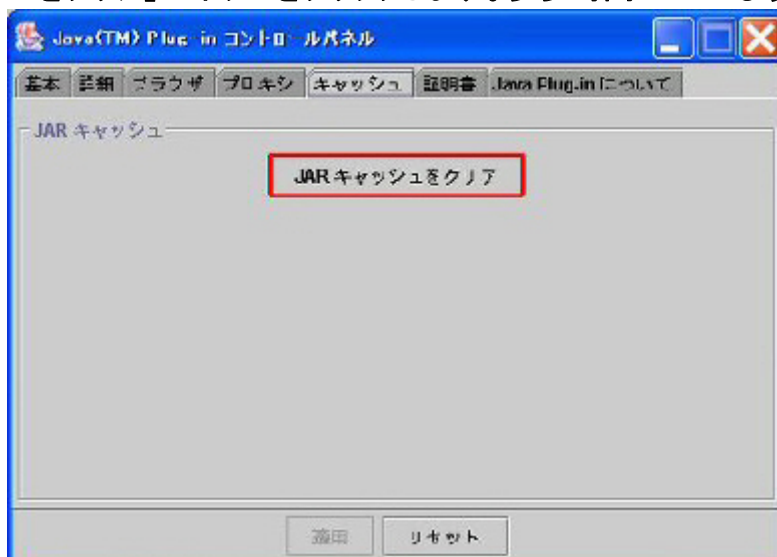
- 2 Java Plug-in 1.3.x_xx のアイコンをダブルクリック(.x_xx はバージョン)します。



- 3 Java(TM)Plug-in コントロールパネルの画面が表示されますので、画面中央の「キャッシュ」タブをクリックしてください。」。



- 4 「JAR キャッシュをクリア」のボタンをクリックします。多少時間がかかる場合があります。



- 5 下記の画面が表示されるので、「了解」ボタンをクリックして作業は終了です。
Java Plug-in コントロールパネルを右上の閉じるボタンで終了してください。
以上で作業は終了です。電子入札システムに接続できるかどうかを確認してください。



JRE6.0 用の手順

Java (JRE) のバージョン確認方法は、[こちらをご覧ください。](#)

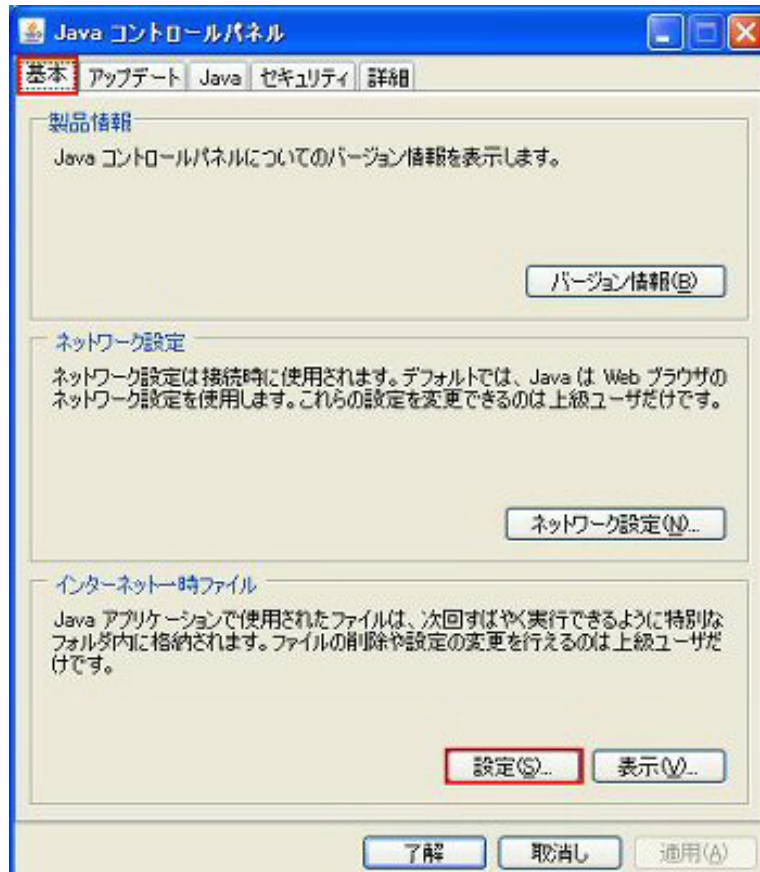
1 InternetExplorer のウィンドウをすべて閉じ、コントロールパネルを開きます。

- Windows XP 及び Windows Vista の場合は、
コントロールパネルは「クラシック表示」の表示設定にします。
Microsoft 社関連ページ [「コントロールパネルを表示してみよう」](#)
- Windows2000 の場合は、
[スタートボタン]→[設定]→[コントロールパネル]からコントロールパネルを表示します。

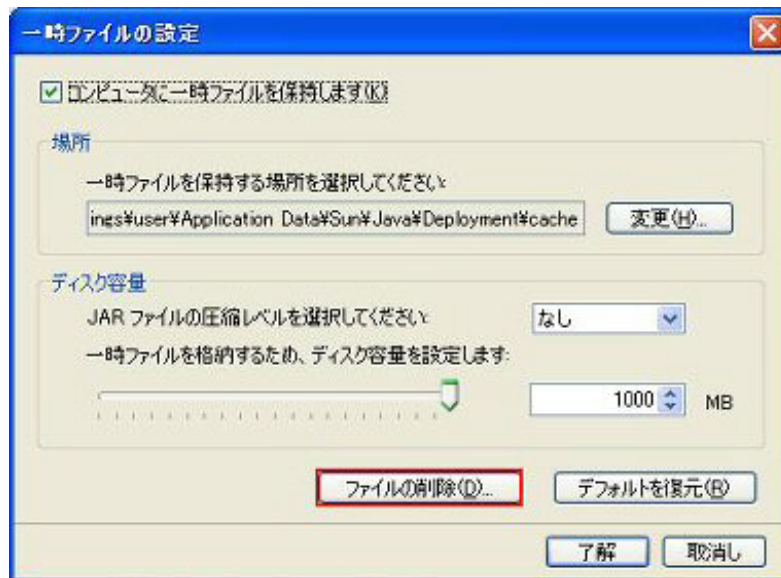
2 Java のアイコンをダブルクリックします。



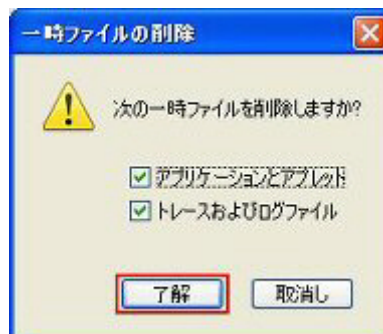
3 Java コントロールパネルの「基本」タブが表示されたら、「インターネット一時ファイル」の「設定」をクリックします。



- 4 「一時ファイルの設定」画面が表示されたら、画面下にある「ファイルの削除」ボタンをクリックします。



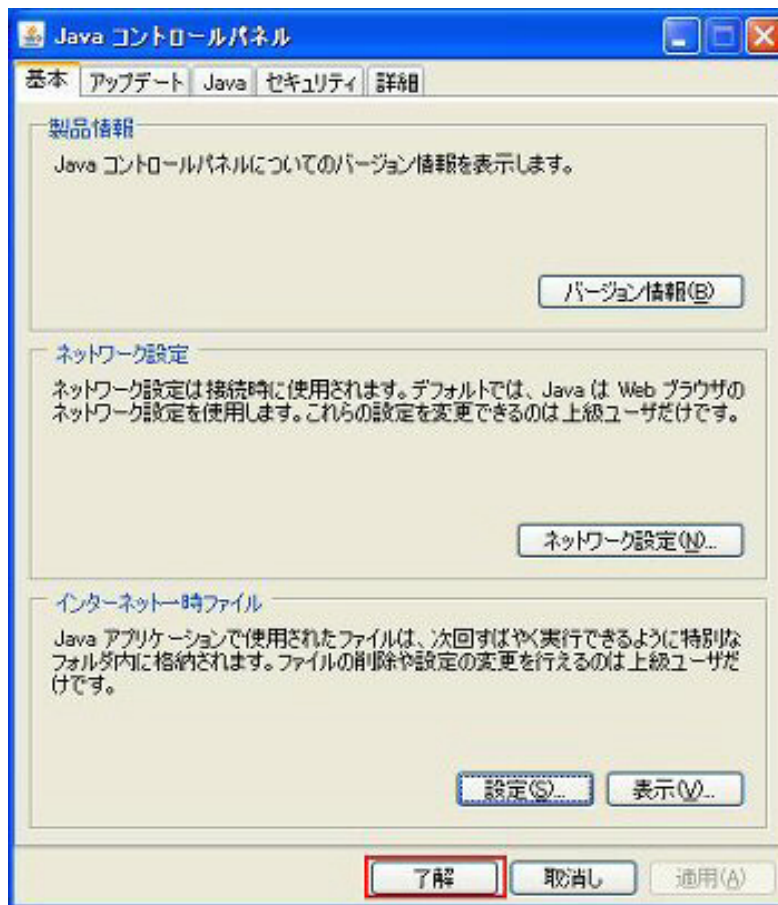
- 5 「一時ファイルの削除」確認画面が表示されるので、そのまま了解ボタンをクリックしてください。
多少時間がかかる場合があります。



- 6 前の「一時ファイルの設定」画面に戻ったら「了解」ボタンをクリックします。



- 7 最初の「Java コントロールパネル」画面に戻るので、
「了解」ボタンをクリックして、Java コントロールパネルを終了してください。
以上で作業は終了です。
電子入札システムに接続できるかどうかを確認してください。

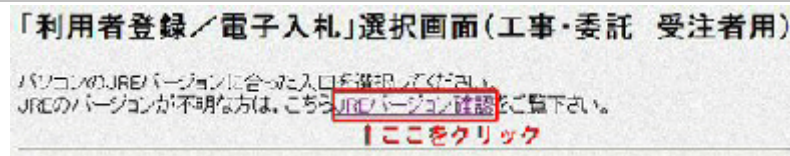


「Java(JRE)」のバージョン確認方法

- 1 電子入札システムを起動します。

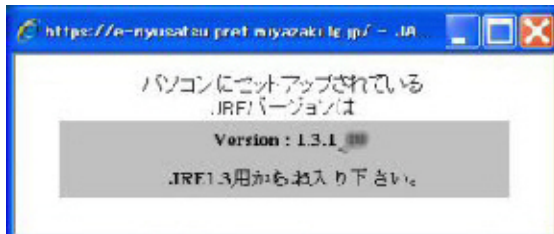


- 2 「JRE バージョン確認」をクリックします。



- 3 バージョンを確認します。

JRE1.3 の場合



JRE6.0 の場合



- 4 JRE バージョンに合った入口からログインします。